

■メールサーバの設定変更 (UNIX版 postfix設定マニュアル)

◆送信時のウイルスチェックをかけるために

お客様がメールを送信する際に、送信するメールに対してウイルスチェックをかけるには、お客様のメールサーバの設定変更が必要です。

具体的には、お客様のメールサーバが送信するメールが弊社のウイルスチェックゲートウェイにリレー(転送)するように、設定する必要があります。

お客様にご利用いただくウイルスチェックゲートウェイは、弊社よりサービス開始時に送付しております『**【bit-drive】ウイルスチェックゲートウェイサービス開始のお知らせ**』に記載してございます。なお、Postfixをご利用の場合は、MXレコードによりプライマリサーバ、セカンダリサーバ両方を使用しますので、セカンダリサーバの指定は必要ございません。

●ウイルスゲートウェイ : vcgwpX.bit-drive.ne.jp

※**「pX」**、部分は、お客様毎に異なります。『**【bit-drive】ウイルスチェックゲートウェイサービス開始のお知らせ**』をご確認ください。

また、本マニュアルでは、お客様のメールサーバ名を、例として以下のように記載しております。
実際に設定をされる際には、「example.com」をお客様メールサーバ名に書き換えてご設定くださいますようお願いください。

●お客様メールサーバ名 : example.com

・回線開通前のお客様は回線開通後以降、回線を既にご利用のお客様は、お申し込みいただいた「サービス開始希望日」以降に上記設定を行ってください。

***注意：事前に設定してしまいますとメールを送信できなくなりますのでご注意ください。**

■Postfix 設定例

Postfix によるウイルスゲートウェイへのリレー設定例を示します。

それ以外の設定方法につきましてはpostfixのマニュアルをご参照ください。

main.cfの編集

PostFixのメインコンフィグファイル、main.cfを編集します。

main.cfはpostfixをdefaultでインストールすると/etc/postfixに生成されます。

```
myhostname = mail.example.com ←メールサーバのホスト名を指定
mydomain = example.com ←ドメイン名を指定
mydestination = $myhostname, localhost, $mydomain
mynetworks = 172.16.10.16/28, 192.168.10.0/24
↑送信を許可するIPアドレスをCIDR表記で指定
relayhost = vcgwpX.bit-drive.ne.jp
↑ウイルスゲートウェイのプライマリサーバを指定
※MXを参照するように、必ず[ ] (カギカッコ) なしでご指定ください。
<Postfix-2.Xをご利用の場合>
unknown_local_recipient_reject_code = 550
↑本設定はデフォルト値の"550"から変更しないでください。
※設定を変更した場合、ウイルスゲートウェイの動作遅延に繋がる可能性がございます。
```

※ここでは、例として「example.com」と記述しております。実際の設定では、お客様のお申し込みになったドメイン名に置き換えてご指定ください。

Postfixの再起動

新しい設定を反映するにはpostfixの再起動が必要です。

```
postfix reload
```